



防災おうめ

掲示板用

災害に備えよう

1月15日～21日は「防災とボランティア週間」

「防災とボランティア週間」について

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を契機に創設された「防災とボランティア週間」は、災害時におけるボランティア活動や自主的な防災活動の認識を深めるとともに、災害への備え等の充実強化を図ることを目的としています。

令和4年1月17日で阪神・淡路大震災の発生から27年が経過しますが、過去の災害の記憶を風化させず、今後、発生が懸念されている首都直下地震等に対する備えや都民の防災行動力の向上を図るため、東京消防庁では各消防署において防火防災訓練や様々な関連行事を積極的に推進しています。



東京都内における住宅火災の死者発生状況

本年中の住宅火災による死者数は、12月1日現在58人となっており、過去5年間で3番目に多い状況です。死者が発生した住宅火災の特徴的な傾向は以下のとおりです。

- 1 65歳以上の高齢者（以下「高齢者」という。）の占める割合が、75.9%と高くなっています。
- 2 高齢者の死者が発生した火災の出火時の状況は、「一人暮らしで出火時本人のみ」が5割、「高齢者世帯で出火時一人又は高齢者のみ」が約3割を占めています。
- 3 出火原因は、「たばこ」に次いで「こんろ」が発火源と推定される火災が多く発生しています。
- 4 「こんろ」が発火源と推定される火災のうち、約6割が「ガステーブル」となっています。
- 5 「こんろ」及び「コード」が発火源と推定される火災が、昨年と比較して増加しています。
- 6 住宅用火災警報器等の設置有無別で見ると、未設置（不明及び調査中を含む）住宅での発生が約半数を占めています。

文化財を火災などから守ろう

～育てよう 歴史を守る 防火の心～

1月26日は「文化財防火デー」

日本の文化財は、木や紙などの可燃物で造られているものが多く、一度火災になると、大きな被害を受ける危険性が高くなっています。

一昨年度は、ユネスコの世界文化遺産に登録されているフランスのノートルダム大聖堂及び沖縄県那覇市の首里城跡において大規模な火災が発生し、社会的な注目を集めました。

東京消防庁では、1月26日を中心に文化財を火災や地震などから守るための自衛消防訓練の実施などと呼びかけ、将来に継承すべき貴重な財産である文化財の火災予防を推進しています。

文化財防火デーに伴う

消防演習のお知らせ

日時 令和4年1月26日 10:00～

場所 塩船観音寺

住所 青梅市塩船194



防火・防災に関するお問合せ

| | | |
|---------|----------------|---------------|
| 青梅消防署 | 青梅市師岡町3-2-5 | ☎0428-22-0119 |
| 日向和田出張所 | 青梅市日向和田2-309-1 | ☎0428-24-0119 |
| 長淵出張所 | 青梅市長淵3-203-3 | ☎0428-21-0119 |